

令和5（2023）年度 みよし市障がい者自立支援協議会第3回全体会 次第

日時：令和6（2024）年3月21日（木）

午前10時から正午まで

場所：みよし市役所3階 研修室1，2，3

1 あいさつ

2 協議事項

（1）令和5（2023）年度のみよし市障がい者自立支援協議会について

ア 運営会議の事業報告、意見交換

人材育成検討チームの事業報告、意見交換

暮らしの場検討チーム事業報告、意見交換

地域生活支援拠点検討チーム事業報告、意見交換

イ 児童部会の事業報告、意見交換

就労支援部会の事業報告、意見交換

精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

（2）地域生活支援拠点等の整備について

3 その他（各機関からの連絡事項など）

令和5（2023）年度みよし市障がい者自立支援協議会  
第3回全体会 参加者

構成員の分類	所属先	職名	氏名
市内障がい者相談支援事業所	わらび 児童部会	理事長 部会長	熊谷 かの子
//	しおみの丘	—	—
//	みよし市社会福祉協議会	次長	谷口 勇一
市内障がい福祉事業所	泰山寮	寮長	近藤 高史
//	特定非営利活動法人いきもの語り	—	—
//	一般社団法人みよしはたらく協議会	法人事業統括	小西 浩文
//	えがお	—	—
市内障がい当事者団体	みよし市身体障害者福祉協議会	会長	前澤 晏
//	みよし市手をつなぐ親の会	会長	岸野 佳江
//	みよし市精神障がい者家族会	会長	畠中 菊代
就労・雇用の関係機関	豊田公共職業安定所	所長	竹田 順吾
//	西三河北部障がい者就業・生活支援センター	室長	西村 多恵
保育・教育・療育の関係機関	豊田市子ども発達センター 地域療育相談室	—	—
//	愛知県立三好特別支援学校	教諭	内田 紀子
//	豊田市立豊田特別支援学校	高等部主事	高木 志朗
保健・医療の関係機関	みよし市民病院 地域連携・医療相談室	主事	阿部 優奈
行政機関	愛知県豊田加茂福祉相談センター	主事	大河内 由美子
//	愛知県衣浦東部保健所	主査（班長）	西出 素子
//	みよし市教育委員会	指導主事	大成 康臣
相談支援地域アドバイザー	むもん生活支援センター	センター長	阪田 征彦
みよし市障がい者自立支援協議会専門部会部会長	就労支援部会	部会長	山口 雅之
//	精神保健福祉部会	部会長	兼重 隆
//	医療的ケアさぼーと部会	—	—

事務局	職名	氏名	部会等事務局	職名	氏名
みよし市役所 福祉部	福祉課副主幹	清水 慎太郎	人材育成検討チーム	事務局	岡村 光騎
	福祉課主事	立石 恵莉	暮らしの場検討チーム	事務局	深田 明男
			地域生活支援拠点検討チーム	事務局	秋田 雅治
			児童部会	事務局	堤 智香
					森田 亜由子
			就労支援部会	事務局	中村 美香
			精神保健福祉部会	事務局	江川 裕美
					藤城 ひろみ
		医療的ケアサポート部会	事務局	川北 小有里	

令和5(2023)年度  
みよし市障がい者自立支援協議会  
第3回全体会

## 2 (1) 令和5 (2023) 年度のみよし市障がい者自立支援協議会について

### (1-1) 運営会議の事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 会議での協議内容
- エ 今後の方向性

### (1-2) 人材育成検討チームの事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 今後の方向性

### (1-3) 暮らしの場検討チームの事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 今後の方向性

### (1-4) 地域生活支援拠点検討チームの事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 今後の方向性

### (2) 児童部会の事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容
- エ 研修協力について
- オ 今後の方向性

### (3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容
- エ 今後の方向性

### (4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容
- エ 今後の方向性

### (5) 医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

- ア 運営目的
- イ 具体的な取組状況
- ウ 部会での協議内容
- エ 今後の方向性

## (1-1) 運営会議の事業報告、意見交換

### ア 運営目的

市の障がい者福祉に関する課題のうち、行政で取り組むこと、協議会で取り組むことを整理し、協議会の方針を決める。

### イ 具体的な取組状況

①相談支援事業等（個別支援会議や事例検討会等）で確認できた地域課題の報告を基幹的相談支援センターから受ける。

地域課題の解決に向けて、どのように取り組むか協議する。

必要に応じて、他の機関・会議体へ働きかける。

運営会議において、基幹的相談支援センター担当から、相談支援事業等（個別支援会議や事例検討会等）で確認できた地域課題の報告を受けた。詳細は、別紙資料（資料 No.1）のとおり。

②必要に応じて、各専門部会等の運営についての協議・助言を行う。

運営会議において、各専門部会及び検討チームの取組状況を確認した。詳細は、下部ウのとおり。

③各専門部会等の報告に加え、全体会構成員全員で協議を行えるような議題について検討し、決定する。

3月運営会議において、整理・共有を行った。詳細は下部ウのとおり。

### ウ 会議での協議内容

時期	会議	内容
11月24日	第2回全体会	<ul style="list-style-type: none"><li>令和5（2023）年度の各部会・チームの取組内容について意見聴取。</li><li>地域生活支援拠点等の整備について意見聴取。</li></ul>
12月7日	12月運営会議	<ul style="list-style-type: none"><li>全体会のふりかえり</li><li>協議会主催シンポジウムについて</li><li>11月の地域課題について協議。</li><li>11月の各部会・チームの動向確認。</li></ul>
1月11日	1月運営会議	<ul style="list-style-type: none"><li>協議会主催シンポジウムについて</li><li>12月の地域課題について協議。</li><li>12月の各部会・チームの動向確認。</li></ul>
2月1日	2月運営会議	<ul style="list-style-type: none"><li>協議会主催シンポジウムについて</li><li>1月の各部会・チームの動向確認・年間事業報告書について協議。</li><li>1月の地域課題について協議。</li></ul>

3月7日	3月 運営会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 協議会主催シンポジウムについて</li> <li>• 第3回全体会における協議内容の確認。</li> <li>• 2月の各部会・チームの動向確認・年間事業報告書について協議。</li> <li>• 2月の地域課題、地域課題報告書について協議。</li> </ul>
------	------------	---

## エ 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今後も継続して運営会議で地域課題の具体的な取組の協議ができるようにする。</li> <li>• 各専門部会等が年間計画表に沿って滞りなく運営ができるよう、必要に応じて運営についての協議や助言を行う。また、他部会等と協働した取組ができるよう、必要に応じて運営についての協議や助言を行う。</li> <li>• 今後も継続して全体会の限られた時間の中で活発な意見交換ができるようにする。</li> </ul>
---

## (1-2) 人材育成検討チームの事業報告、意見交換

### ア 運営目的

障がい福祉従事者がソーシャルワークを意識して、業務に取り組めるようになる。

### イ 具体的な取組状況

- ①障がい福祉従事者を対象として地域診断表（事業所の意識・関わり）を意識できる研修を企画・開催する。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
3月5日	障がい福祉従事者向け研修	障がい福祉従事者同士の悩みや困りごとを気楽に話す機会の提供を目的とし、福祉経験年数15年以内の方を対象に意見交換の場を設けた。参加者は、10名・9事業所。

- ②管理者同士がみよしの課題を共有できるようにするため、管理者向け研修を開催する。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
1月16日	管理者向け研修	「強いチーム作り」をテーマにグループワーク研修を開催した。参加者は、11名・9事業所。

- ③他市町の強度行動障がい児・者に対する支援事業について確認し、市内の実情に合わせた研修を行う。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月5日	強度行動障がい研修	「強度行動障がい、障がい特性の理解」をテーマに講師を招き、講義及び市内の事例をもとにしたグループワーク研修を企画・開催した。参加者は、主に強度行動障がい児・者を支援する17名・10事業所。

### ウ 今後の方向性

- ・地域課題報告書から強度行動障がい児・者に対する専門的な人材育成・確保が課題として挙げられているため、引き続き、強度行動障がい研修を企画する。また、ヘルパー事業所の人材育成の課題が挙げられているため、強度行動障がい研修への参加を促す。
- ・他部会が行う人材育成研修について、協働できるか検討する。



## (1-3) 暮らしの場検討チームの事業報告、意見交換

### ア 運営目的

障がい者（児）が、地域で生活できる仕組み（緊急時対応、住まいの場の確保等）を構築する。

### イ 具体的な取組状況

①緊急時の受け入れ体制の検証と評価を行う。課題が確認された場合は、修正する。

新たな受け入れ先を増やす為、受け入れ方法について協議する。

新たな受け入れ候補先：さくらの丘（（社福）あゆみ会）、マムハウス（（一社）キッズラバルカ）、障がい者等サポートセンター（福祉課）等

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月・1月	登録案内状況の確認	相談支援専門員に対し、緊急時対応の登録案内状況を確認。
2月15日	第3回WG	・市内2か所の短期入所事業所との緊急時対応の協定締結に向けた協議。 ・新たな受け入れ先の確保に向けた協議。

②不動産業者や大家等と意見交換を行い、課題を探り、解決方法を検討する。市役所各課、社会福祉協議会、相談支援専門員等と情報を共有していく。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月18日	事務局打合せ	不動産仲介業者との意見交換会実施に向けた助言機関との協議。
2月27日	事務局打合せ	不動産仲介業者との意見交換会は、不動産仲介業者の参加希望がなく延期したため、今後の開催に向けた助言機関及び福祉課と協議を実施。

③宿泊体験の場が必要と思われるケースを相談支援専門員に確認する。体験の場について、他市町の取組みをヒアリングする。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月21日	ヒアリング	半田市の宿泊体験の場について。
2月8日	ヒアリング	安城市の宿泊体験の場について。

## ウ 今後の方向性

- 緊急時対応フローに基づいた支援を実働させ、成果や課題を確認する。  
また、新たな受け入れ先の確保等に向けて取り組む。
- 地域で生活できる仕組み（住まいの場の確保等）の構築に向けて、不動産仲介業者へ訪問し繋がりを持ち、関係を深める。
- 他市町の宿泊体験の場の設置状況を参考に、みよし市に合った宿泊体験の場の設置に向けて取り組む。

## (1-4) 地域生活支援拠点検討チームの事業報告、意見交換

### ア 運営目的

障がいの重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための5つの機能を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障がい児（者）の生活を地域全体で支える体制を構築する。

### イ 具体的な取組状況

①ワークショップで出された企画のプロジェクトチームを立ち上げ、実現に向けて取り組んでいく。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月1日 2月2日 3月8日	ウォーキング マップ作り に向けた調査	「ヘルスパートナーとみよしを歩こう」への参加、調査の実施。 12月：さんさんの郷コース 2月：みどりのこみちコース 3月：三好池・梅の里コース
1月9日		「ヘルスパートナーとみよしを歩こう」のウォーキングコースの一つである、浮き雲 棧橋コースの一部を別班の構成員のみで 散策、調査の実施。
12月14日 1月12日 2月7日 3月14日	ウォーキング マップ作り に向けた意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ヘルスパートナーとみよしを歩こう」への参加後の振り返り。</li> <li>具体的なマップ作りに向けた意見交換。</li> </ul>

②暮らしの場検討チーム、人材育成検討チームの進捗状況を確認するために、定期的に情報共有をする。

他分野を知り、障がい分野を知ってもらい、お互いの連携を深めるため、協議体に参画する。

市の重層的支援体制整備準備プロジェクトチームに参画し、地域共生ワークショップの後継事業を開催する。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
毎月	各地域包括の第 2層協議体への 参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい分野について知ってもらうため、地域包括支援センター管轄の協議体に参加。</li> <li>参加者との意見交換、地域課題の共有。</li> </ul>

2月23日	シンポジウム	重層的支援体制整備について長久手市地域共生推進監である國信氏を講師に招き、講演会を開催。
-------	--------	--

- ③全体会構成員と昨年度の地域診断表の評価を共有し、課題を明確化する。令和6（2024）年度からの様式改定に向けて、第1回全体会で構成員から意見を伺い、第2回全体会で新様式の案を提示。意見を伺い、第3回全体会で決定する。（資料No.2）

**【取組内容】**

時期	取組	内容
1月	地域診断表の取りまとめ	全体会構成員からの地域診断表回答の取りまとめ。
2月	分析	地域診断表の回答の分析。
3月21日	第3回全体会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域診断表の分析結果を用い、令和5（2023）年度の評価を全体会構成員でディスカッション。</li> <li>第2回全体会で提示した地域診断表の新様式案に軽微な修正を加え、令和6（2024）年度の地域診断表として決定。</li> </ul>

**ウ 今後の方向性**

<ul style="list-style-type: none"> <li>多機関が協働し、地域の課題を共有し、解決に向けて取り組む。</li> <li>地域診断表の8つの機能のレベルアップを図ると共に、地域の実情が伝わるような仕組みを作る。</li> </ul>
---

## (2) 児童部会の事業報告、意見交換

### ア 運営目的

障がい児の早期発見とライフステージに応じた地域での生活を支援するための協議及び事業を行うことにより、障がい児の福祉、保健、保育及び教育を実施する関係機関の職員及び家族の療育意識を高め、障がい児福祉の向上を図る。

### イ 具体的な取組状況

①乳児保育を担当している保育士へ実態把握を行うためのアンケートを実施する。

アンケート結果から見えてきた課題に関して、解決方法を検討するために他市町の見学や研修などに参加する。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
10月	アンケートの実施	乳児保育を担当している保育士を対象にアンケートを実施し、68名から回答を得た。
11月	全国児童発達支援施設運営協議会に参加	「地域で支える子育て支援と未来志向の児童発達支援」がメインテーマの研修に参加した。

②シートは園から小学校へ入学する際に活用される。「みよし・つながりシート」のその先（小・中・高）をつなげていくものが必要か検討する。

他市町の情報に関する参考資料を集める。

部会から出たシートの課題に関して、特別支援教育連携協議会に提案していく。

部会でリレーシートの必要性について協議し、個別の教育支援計画及び指導計画は、小→中→高をつないでいることがわかる。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
2月13日	第2回特別支援教育連携協議会	・シートに関する課題の共有。 ・児童部会の取組の報告。

③各所属機関が取り組んでいる保護者支援の進捗状況を確認する。

他市町の「語る場」の見学に行く。

『ふたば』や『よつば』卒園児の保護者へのヒアリングを実施する。

**【取組内容】**

時期	取組	内容
11月8日	他市町の 「語る場」の視察	日進市の子ども発達センター『すくすく園』を視察。
12月11日		名古屋市の子どもの発達支援センター『さわらび園』を視察。

**ウ 部会での協議内容**

時期	会議	内容
3月5日	第3回 児童部会	令和5（2023）年度の取組の報告と令和6（2024）年度の取組の協議。

**エ 研修協力について**

児童部会として、関係職種の資質向上のために研修を企画し、豊田市こども発達センター等に協力してもらっている。こども相談課主催の研修は、以下のとおり。

時期	取組	内容
12月20日	1園対象の研修 (出前研修)	【対象園】明知保育園 【内容】事例検討

**オ 今後の方向性**

「就労している家庭への支援」、「リレーシートの必要性の有無」、「語る場の設置」の3点に関して、次年度はワーキンググループを設け、検討予定。

### (3) 就労支援部会の事業報告、意見交換

#### ア 運営目的

働く意思を持っている障がい者及び障がい者を雇用している企業または雇用しようとしている企業を支援するために、必要なシステムや事業等を協議・検討し、具体的に実施する。

#### イ 具体的な取組状況

①相談支援専門員、就労支援員に就労定着に実態調査を依頼する。

前回調査と合わせ、みよし市の就労定着率を調査する。

離職理由に「体調」「人間関係」と挙げる人が多数だった。体調の不安や職業適性の確認できる場があると良い。土日に相談できる窓口や、気軽に話せて、仲間作りができる場所があると良い。

みよし市で就労支援及び相談支援機関を利用して就職した人の定着率は、全国平均と比較して高いことが分かった。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
5月～12月	就労定着の実態調査	訓練機関を利用せず、相談支援専門員3名、就労支援員1名の支援で就職した24名中8名の離職者について調査。
5月～10月	定着率の調査	昨年度と今年度の就労定着の実態調査から、みよし市の定着率を調査。

②職場体験冊子の配布先を把握する。

職場体験冊子の配布先を訪問し、意見交換を行う。

職場体験先をリストアップし、職種を確認する。

DVDの評価を行い今後の活用方法を検討する。

令和5(2023)年度新規受け入れ企業7社：小売り3社、製造1社、清掃1社、物流1社、公共施設1社。

職場体験受け入れ企業のリストを作成した。

DVDは、社内研修や学校の教材等に利用してもらう。また、DVDの譲渡について、使用目的が部会の主旨に沿っていること、使用の効果をフィードバックすることを条件に認めることとする。

**【取組内容】**

時期	取組	内容
6月～12月	職場体験先の開拓	職場体験冊子の配布。事務局が6社に訪問、就労支援員が個別に訪問し、職場体験受入の依頼を行った。
11月～12月	DVDの活用方法の検討	障がい者雇用支援セミナー参加者、部会構成員にYouTubeで7限定配信を行った。また、セミナー参加者にアンケート調査を行った。

## ③部会構成員にヒアリングを行う。

機能及び役割が共有でき、部会の課題を整理した。(資料No.3, 4)

**【取組内容】**

時期	取組	内容
12月	部会構成員へのヒアリング	事務局4名(福祉課2名、事務局2名)及び同行希望をした構成員でヒアリングを行った。

## ウ 部会での協議内容 (資料No.5)

時期	取組	内容
2月16日	第3回 就労支援部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労定着の実態調査の報告。</li> <li>職場体験先を増やす取組の報告。</li> <li>来年度の活動についての意見交換。</li> </ul>

## エ 今後の方向性

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>福祉的就労についてWGを発足し、課題の解決に向けた具体的な取組を検討する。</li> <li>教育関係機関で集まり現状と課題を共有し、具体的な取組を検討する。</li> </ul> |
|---|



## (4) 精神保健福祉部会の事業報告、意見交換

### ア 運営目的

精神保健福祉の関係機関が連携し、精神障がい者が地域で安心して生活していけるよう、支援システムを構築する。

### イ 具体的な取組状況

- ①ピアサポーターを養成・スキルアップできる学習会等の内容を検討する。  
ピアサポーターの候補者を集めるため、「ピアサポート体験会」を実施した。参加者から集まりの継続の声もあり、ピアサポーター養成への第一歩を踏み出すことができた。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月16日	ピアサポーター体験会	名古屋市でピアサポーターとして活躍している2名を招き、体験会を実施。参加者は6名。

- ②退院に関わる事例を取り上げ、医療と福祉の連携を検討する。

精神障がい者等サポート事業のひきこもり支援連絡会に参加し、課題の集約を図る。

精神障がい者等サポート事業主催の「第2回ひきこもり支援連絡会」に参加し、第3回精神保健福祉部会に不登校が激増している現状を報告した。部会で課題を共有する仕組みができた。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
1月24日	医療と福祉の連携についての検討会	第2回部会での事例検討を基に、医療機関と入院から退院後までに必要な連携について協議。
2月21日	ひきこもり支援連絡会	<ul style="list-style-type: none"><li>みよし市の不登校の現状確認</li><li>みよし市教育センター学びの森の状況について</li><li>次年度の連絡会について</li></ul>

- ③部会で内容を精査・改訂し関係機関へ配布、配置する。

部会で内容を確認し、デザイン校正の段階に入った。年度内に印刷入稿する予定。

## ウ 部会での協議内容 (資料 No.6)

時期	取組	内容
2月28日	第3回 精神保健 福祉部会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ピアサポーターの養成について</li><li>・医療と福祉の連携について</li><li>・ひきこもり支援連絡会について</li><li>・「こころのサポートガイド in みよし」について</li><li>・自殺対策計画について</li></ul>

## エ 今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"><li>・ピアサポートを学べるイベントの企画及び啓発活動の方法等を当事者を巻き込み企画する。令和6(2024)年度愛知県精神障がい者ピア活動支援研修への参加を促す。ピアの啓発活動として活躍してもらえる場を作る。</li><li>・医療機関と福祉関係者が構成員となるワーキンググループを立ち上げ、課題を共有しながら入院から退院後までの具体的な連携体制を構築する。</li><li>・ひきこもり支援連絡会への参加を継続し、課題を集約する。</li><li>・こころのサポートガイドを配布し、関係機関の連携や精神保健福祉の普及啓発に活かすための検討を行う。</li></ul>
---

## (5) 医療的ケアさぽーと部会の事業報告、意見交換

### ア 運営目的

日常生活を営むために医療を要する状態にある児(者)(以下「医療的ケア児(者)」という。)及びその家族の住み慣れた地域での生活をサポートするために多職種が集まり、必要なシステムや事業などを協議・検討し、具体的に実施する。

### イ 具体的な取組状況

- ①大規模災害を想定したシミュレーションを行う。  
災害に備え準備をする。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月8日	周知啓発 WG	持ち出しリスト等の検討
1月29日	周知啓発 WG	前回の振り返りと持ち出しリストの修正
3月12日	周知啓発 WG	災害時用さぽーとブックと持ち出しリストの作成

#### 【(参考)周知啓発 WG 参加機関】

NPO 法人いきもの語り、保育課、キッズラバルカ

- ②医療的ケア児(者)の一時的な受入れについて、市内医療機関と年間の動きを共に計画し、協議の場を設ける。  
前回以降、動きはない。次年度早々に取り組みを行う。

- ③市内在住の医療的ケア児(者)が抱える課題の整理と情報共有と行い、部会に議題としてあげていく。

「医療的ケアが必要な方の情報ガイド」を豊田市地域自立支援協議会と今後の取り決めをしていく。(資料 No.7)

医療的ケア児等コーディネーターの役割を再度、明確化する。(資料 No.8)

医療的ケア児等コーディネーターWG を中心に、市内医療的ケア児(者)の課題整理を行い、課題の見える化を行った。

#### 【取組内容】

時期	取組	内容
12月18日	医療的ケア児等 コーディネーター フォローアップ研修	みよし市・幸田町の取組発表と事例 検討。

1月15日	西三河北部・西三河南部東圏域医療的ケア児支援連携会議	相談支援圏域アドバイザー・福祉課・学校教育課・保育課・医療的ケア児等コーディネーター・愛知県医療的ケアアドバイザーが参加。各市町の取組の情報交換と課題の確認。
1月30日	第4回医療的ケア児等コーディネーターWG	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西三河北部・西三河南部東圏域医療的ケア児支援連携会議について</li> <li>・医療的ケアさぽーと部会主催 保育士向け研修について</li> <li>・情報ガイドについて</li> <li>・市内に居住する医療的ケア児の情報共有及び課題整理表の作成について</li> </ul>

**【(参考)医療的ケア児等コーディネーターWG 参加機関】**

しずく訪問看護ステーション、相談支援 OK サポート、三吉小学校  
こども相談課、キッズラバルカ

- ④医療的ケア費給付事業利用者、学校教育課所轄の事業利用者対象の保育・教育の場での医療的ケアに対する知識・啓発を行う。

市内事業所や訪問看護ステーション対象の知識や技術を伝達できる研修を開催し、連携強化できる環境を作る。

今年度は各ライフステージで研修企画を行うことができた。また、事業所向け研修会は昨年度から継続するような形で行うことができた。

**【取組内容】**

時期	取組	内容
1月9日	保育士向け研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会および医療的ケア費給付事業について</li> <li>・医療的ケア児コーディネーターの役割について</li> <li>・医療的ケア児等アドバイザーによる講義：テーマ『医療的ケア児について知ろう』</li> </ul>

**ウ 部会での協議内容 (資料 No.9)**

時期	会議	内容
2月8日	第3回医療的ケアさぽーと部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各 WG 等の報告</li> <li>・事業報告書と次年度の取組</li> <li>・災害についての意見交換</li> </ul>

## エ 今後の方向性

- 災害に特化した WG を設置し、個別避難計画の作成や持ち出しリストの作成、またその周知方法や個人情報の取り扱い等の検討を行う。
- 座談会を再開し、市内医療機関との顔合わせやイベントに参加する。また、必要な予算について福祉課と協議する。
- 次年度も医療的ケア児等コーディネーターWG を中心に、市内在住の医療的ケア児（者）が抱える課題の整理と情報共有と行い、地域課題を意識し、部会に議題を挙げる。今年度課題に挙げた兄弟児支援の検討も行う。
- 情報ガイドについて、一昨年度訪問した医療機関に再周知を行う。
- 次年度も医療的ケア児等コーディネーター中心に、各ライフステージの研修をブラッシュアップした形で開催する。